



平成29年度 学校だより

# 緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 154 平成30年 3月23日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

## 君たちの挑戦、私の授業

校長 松井 裕次

### 背伸びしている内に本当に伸びる（背伸びするから質問できる）

「自分の可能性を小さく見限るな、背伸びしてもっと広く遠くまで、見渡してほしい」、生徒にそう話してきた。それはこれまで、自ら伸びようとする沢山の生徒に出会ってきたからだ。そういう生徒は、誰が教えても伸びる。一生懸命伸びようとする生徒を、教師が伸ばそうと努力し続ける。これが理想である。

生徒の質問や添削にも鍛えられた。想定外の難問・奇問を持ってこられ、立ち往生する場面もあった。脇の下に冷たい汗が流れたのを思い出す。「君たちの挑戦を待っている」と口走ったばかりに、夜通し考え抜いて問題を解いたこともあった。正直言えばギブアップして、数学科職員みんなで考えたこともあった。

### 過去問のすすめ（赤本は進路指導室にある）

赤本は、モチベーションを高く持つためにも、早くから取り組むことだ。入試問題と一口に言っても、様々である。3年の冬にどのような力を付けておけばいいのか、ゴールイメージを持っておくことが大切だ。また、模擬試験の対策を軽視してはならない。これまでの授業で学習した範囲で、過去問ではどのような内容・レベルが出題されたのか、その傾向を知り対策を立て準備することは大切なことである。どうせ3年の夏になれば、誰しもが赤本を調べ始めるのだ。それは何の為か、入試の傾向を知り対策を立てる為である。同じである。模試の前に勉強して、当日は勉強したことをしっかり発揮して、終わったら解説を読んで復習し力を付ける。この黄金サイクルで学力を伸ばすのだ。さらに言えば、模擬試験は、「実力で受けるべきだ」とうそぶく人がいる。これは、実力のある人が言うべき言葉で、これから実力を付けようという人が言うべき台詞ではない。これを「模試の受けっぱなし」と言う。受験料を払って受ける模試を、勉強しないで受ける手はなかろう。

### 授業渡り鳥

「授業渡り鳥」と言われたことがある。良くない意味だ。職員室に帰らず、教室をハシゴして授業をしていたので、先輩に「生徒の休み時間を保障しなさい」と叱られた。あれもこれも自分の知っていることすべてを教えたかった。「別解、別解」と言いながら授業を続けたので、生徒会誌の似顔絵にも「別解」と叫んでいる姿が描かれてあった。自己満足のために、沢山のことを教え過ぎて、多くの生徒は消化不良になっていた。その現状に気づいてなかったのだ。何て独りよがりの授業をしていたのだろうと、今でも赤面してしまう。伝えたいことと、伝わったことは違う。今さらながらにそう思う。「先生に習って良かった」と言ってもらえることは本当に嬉しいが、もちろん「他の先生に習いたかった」という生徒も沢山いたはずだ。その両方が、自分の授業力を伸ばそうという大きな動機付けになってきた。自分じゃなければ、もっと伸ばせたんじゃないか。そういう謙虚さだけは忘れてはいけない。生徒は教師の真摯な姿勢についてきてくれる。ありがたい。

### 枝葉を落とした授業

ある日、先輩に「枝葉を落とした授業を目指せ」と言われた。目指すべき授業の核心をついた言葉だった。「枝葉を落とした授業を目指そう」、そう決意するまでに随分と遠回りをしたものだ。それからは大きく軸足を入れ換えて取り組んできたつもりだ。枝葉を落とし、最適解を探す作業には、相当の準備が要るし、本当の力が試される。果たして「枝葉を落とした授業」に限りなく近づくことができたのだろうか。今にして思えば、それが数学の真髓のような気がする。どのような解き方がベストなのかを考え、最適解を探し続ける作業は人生にも通じている。

## ○新生徒会常任委員長改選



2月7日（水）に新常任委員長を決める選挙が行われました。今回は、立候補者が1名だったため、信任投票での実施となりました。立会演説会では、応援弁士の多久島海斗君による力強い応援演説を受けて、1年5組の高井侖遠君が気持ちのこもった熱弁をふるいました。高井君は、南高に対する自分の考えや思い、そして、次の世代の全校生徒で創り上げていきたい未来の南高像についての想いを言葉にして皆に伝えてくれ

ました。その演説は多くの生徒の心に伝わる結果となり、賛成多数で次期常任委員長に選出されました。新生徒会は4月に始動しますが、来年度は佐世保南高校も70周年を迎える年となります。生徒会としても様々な多くの取り組みが待っています。多くの行事が成功し、学校をさらに良いものにしてくれるよう期待しています。



新常任委員長に選ばれた高井君（左）  
応援弁士の多久島君（右）

## ○1 学年進路講演会



2月19日、大村さくら法律事務所より曾場尾雅宏弁護士、古舘悟弁護士の両先生方をお招きし、「高校生が知っておきたい法律知識」と題してご講演をいただきました。キャッチセールスやマルチ商法の手口とその対処法について実演を交えた先生方の解説はとてもわかりやすく、大変勉強になりました。加えて、クーリングオフや消費者契約法などの法律についても、詳しい資料をもとに教えていただくことができました。また、お二人が弁護士を志したきっかけやそこに至る経緯、学業の厳しさや学問の面白さについても話をしてくださいました。特に曾

場尾先生のおっしゃった「小さくまとまるな！」という叱咤激励の言葉は、失敗を恐れたり、自分の可能性を自分で狭めたりしがちな私たちにとって、心を震わせるような言葉として響き、勇気をいただくことができました。



## ○第70回卒業証書授与式

3月1日（木）に第70回卒業証書授与式を挙行政いたしました。本年度も式の前に特別表彰式を行い、県教育委員会表彰に豊村一心君、県高体連より卒業生顕彰として中尾涼音さん、県高文連より卒業生顕彰として肴場聖さんが表彰されました。式は厳粛な雰囲気の中で行われ、卒業生代表の小瀬優愛さんは、答辞の中で、「70回生は、松井校長先生が大好きでした。」と感謝の気持ちや、学年の合い言葉『限界突破』を胸に、これからの人生に訪れる様々な限界に果敢に立ち向かう決意を述べました。その後、全員で式歌「蛍の光」と校歌を斉唱し、会場は大きな感動に包まれました。男子112名、女子121名、計233名が3年間の思い出を胸に抱き、学舎を巣立っていきました。ご多用中ご臨席を賜りました来賓の皆様、保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

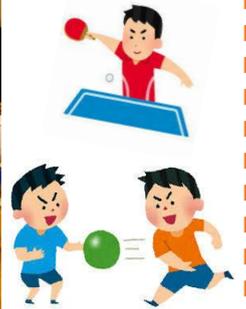


## ○後期校内大会

3月19日(月)に、後期校内大会が行われました。当日はあいにくの天候になり、予定されていた種目での開催ができず残念ではありましたが、男子は卓球とバレーボール、女子はバスケットボールと卓球の3種目が開催され、優勝目指してどの会場も白熱した戦いが繰り広げられました。クラスとしても今年度最後の行事ということで、1年間、高めあってきたチームワークと熱い友情、仲間と勝ちたいという気持ちを全面に出し、生徒たちの素晴らしい姿が見られました。今後も、生徒の力が存分に発揮される佐南を見せてくれることを期待します。

～結果～

【男子】	卓球の部	優勝	1年5組	バレーボールの部	優勝	2年2組
		準優勝	2年5組		準優勝	1年4組
【女子】	卓球の部	優勝	1年5組	ドッジボールの部	優勝	1年4組
		準優勝	1年6組		準優勝	1年5組



## ○今年度、離・退任される先生方の一覧です。

【転出者】	教諭	山田浩樹	先生(数学)	大村高校
	教諭	藤原秀一	先生(保健体育)	佐世保東翔高校
	教諭	鬼塚聡	先生(社会)	諫早高校附属中学校
	教諭	清水勇作	先生(保健体育)	佐世保工業高校
	教諭	神崎啓子	先生(国語)	五島海洋高校
	教諭	坂田祥文	先生(数学)	上五島高校
	教諭	坂本徹	先生(保健体育)	西彼杵高校
	教諭	貞方隆宏	先生(国語)	長崎工業高校定時制
	養護教諭	大窄彩	先生(保健体育)	島原特支南串山分教室



【退職者】	校長	松井裕次	先生(数学)	佐世保中央高校
	主事事務	吉田信二	先生	諫早高校
	教諭	江口拓真	先生(理科)	佐世保南高校
	教諭	嶺英俊	先生(社会)	佐世保南高校
	教諭	山田宗光	先生(数学)	退職
	講師	今林隆人	先生(国語)	長崎玉成高校
	講師	森下真優	先生(数学)	鹿町工業高校(新規採用)
	講師	前田祐作	先生(社会)	虹の原特別支援学校
	講師	秋月直剛	先生(英語)	佐世保南高校
	講師	永田智揮	先生(情報)	佐世保中央夜間部

